



# せんだんの本

岩野田北小学校  
学校だより No. 5  
令和4年9月1日



8月30日（火）学校が始まりました！



## （8/30 登校の様子）

8月末、学校に夏休み中に作った宝物をお家の方と運んでくる姿を多く見かけました。保護者の皆様には、ご多用のところ、ありがとうございました。

30日から、各学級で夏休みの宝物発表が行われました。夏休み中の楽しかった思い出などを一生懸命語る子どもたちの姿をたくさん見る事ができました。今週中に学校での生活リズムを取り戻して、楽しく学び、楽しく遊ぶ子どもたちの笑顔を少しでも多く見ることができるとを期待しています。

オンラインによる全校集会では、校長が得意なことや興味があることだけでなく、苦手なことや面倒なことにも立ち向かっていけるようになってほしい、コロナでまだまだ制限がある中ではあるけれども、仲間同士、協力して有意義な学校生活を送ってほしいと話しました。コロナの感染拡大が厳しい状況で、貴重な時間をいじめや意味のないいざこざなどで無駄にしてほしくないと思います。

## （オンライン全校集会）



## 「with コロナ」と言うけれど…

今年は行動制限のない夏休みになりました。もちろん、基本的な感染対策など、コロナ前に比べれば、ずいぶん窮屈な生活でした。いろいろな夏の行事が行われましたが、規模を縮小したり、長良川の花火大会のように今年も中止になったものも多くありました。大相撲の夏場所もコロナのために多くの力士が休場し、過去最大の休場者数となりました。せっかくの名古屋場所でしたが、何だか寂しい感じがしました。夏の全国高校野球大会も、先日まで甲子園で熱戦が繰り広げられました。しかし、地方予選の段階で出場ができなくなった高校が多くありました。岐阜県代表の県立岐阜商業高校も多くのレギュラ

一メンバーがコロナの関係で出場できなくなり、メンバー変更をすることはできましたが、十分な力を発揮できませんでした。しかし、コロナだからできないとあきらめてしまうのではなく、できることを考え、精一杯行う姿に感動もした夏でした。

夏休み中の市内の小中学生の感染者数は、夏休みだけで昨年1年間を上回る勢いです。今年の夏休み明けは、昨年のように制限はなく再開されます。昨年の夏休み明けは分散登校とオンラインによる再開でした。現在の状況では、まだまだコロナと上手に付き合っていくという感じではなさそうです。

そこで、今後も以下のことについて、ご理解とご協力をお願いいたします。

- ① 「スマート連絡帳」による健康チェックを忘れずに行う。  
→1つでもチェックする項目があれば、受診したり、登校を見合わせたりする。  
同居の家族に体調不良者がいる場合も同様の対応をする。
- ② 基本的な感染予防対策を家庭でも行う。  
→メリハリのあるマスクの着用、手洗い、手指の消毒、換気など
- ③ 「スマート連絡帳」をできる限り確認する。  
→「スマート連絡帳」に代わり、ご協力いただいておりますが、受信メッセージの見えにくさ等、課題があります。今後も学級閉鎖による急な引き渡しになる場合があります。仕事をしてみえる場合でも、休憩時間などにこまめに確認をお願いします。

## コロナに関する「学級閉鎖」について

報道では、学級に1名の陽性者が出ても学級閉鎖を実施しないというものもありましたが、岐阜市はこれまで通り、「学級で1名陽性者が出たら、原則翌日1日学級閉鎖とする。さらに複数の陽性者が出た場合は、市教委や学校医と相談の上、延長することもある。」という通達がありました。他の地域とは違う対応になることもあることをご承知おきください。

## 学校園をきれいにさせていただきました！

8月27日（土）の午前中に、コミスクの支援推進委員会のコーディネーターである栗原修司さんを中心に、委員の皆さんやJAの支店長さんなど11名が集まって学校園（サツマイモなどが植えられている学校の畑）の除草などの整備を行っていただきました。夏休み中にかなり雑草が伸びたり、ジャガイモが成長したりしていました。大変、美しくしてもらえました。サツマイモや枝豆なども順調に育っているようです。

また、8月末に地主の方にご挨拶と今後の承諾書を頂くためにお会いしました。来年度も土地を貸していただくことを快諾していただきました。

子どもたちが笑顔で収穫できることを楽しみにして、地域の皆さんが応援してくださっています。ありがたいことだと感謝しております。



(大根のお手入れ)



(学校園を守ってくださる支援推進委員の皆さん)



(たわわに実った枝豆)